

# 令和6年度事業報告

## I 法人本部・管理部

### 1 理事会・評議員会

第128回理事会は前年度(令和5年度)の事業報告、決算報告、一部役員の退任と新役員候補者の推薦、新評議員選任・解任委員の選任、定時評議員会の開催などを承認した。第129回理事会は令和6年度上半期事業報告、公益に関する内部通報等に対する体制及び内部通報者保護規程の新規制定、東山田地域ケアプラザ変形労働時間制に関する細則およびパートタイム職員就業規則の改訂、人事異動に伴う施設長の選任などを承認した。第130回理事会は令和7年度事業計画および収支予算、育児介護休業等に関する規則、嘱託職員就業規則、パートタイム職員就業規則および経理規程の改訂、令和7年度人事異動に伴う施設長の選任、東山田地域ケアプラザ併設福祉保険サービスのサービス転換及び財産処分の手続きなどが承認された。また、「東やまたレジデンス・東山田地域ケアプラザ・東やまた工房都市ガス化工事」に係る業者選定および入札方法については8月2日に、「東やまたレジデンス・東山田地域ケアプラザ・東やまた工房の建物・設備の修繕に伴う資金計画・担保提供および連帯保証人加入」については8月29日に、「東やまたレジデンス・東山田地域ケアプラザ・東やまた工房空調機更新工事」に係る業者選定および入札方法については9月28日にそれぞれ理事全員の書面による同意があり、理事会の議決があったものと見なされ承認された。

第8回定時評議員会では前年度(令和5年度)決算および一部役員の退任に伴う役員(監事)の選任、役員及び評議員等の報酬並びに費用に関する規程の改訂が承認された。

[理事会]	第128回理事会(令和6年度第1回)	令和6年5月30日
	第129回理事会(令和6年度第2回)	令和6年11月21日
	第130回理事会(令和6年度第3回)	令和7年3月13日
[評議員会]	第8回定時評議員会	令和6年6月20日

### 2 運営概況

#### (1) 法人経営

部長会議、経営会議は概ね毎月3回定期的に開催して政策形成ならびに運営方針を検討し、迅速な意思決定による事業執行を行った。次課長級による運営会議は毎月1回開催した。経営課題を検討するため6つの部会(中長期計画委員会、高齢化対策部会、リクルート委員会、メンタルヘルス推進委員会、lon1 実行委員会、研修委員会)を設け、管理監督職(一般職員も一部参加)を中心に検討を進めた。

#### (2) 人事労務

- ①事業計画通り、10月より障害福祉部を北部方面と南部方面に分割し、方面ごとの事業所管理を行うこととした。北部方面は施設支援1課・2課・4課・地域支援課を所管し、南部方面は施設支援3課を所管し、それぞれに部長を配置した。
- ②障害福祉部・相談支援部は4月に新規職員採用者5名を確保し、育児休業者2名が復職したが、6名の欠員状態で新年度がスタートした。一方、年度途中採用者は12名確保したが、退職者12名、長期育児休業者4名が発生し、「ナビス氷取沢」単独事業化のための増員もおこなったため、配置予定職員数に対し欠員状態が続いている。障害福祉部門の各事業所における支援員等配置は法定基準をクリアしているが、慢性的な支援員不足が続いている。今春の新卒採用者は1名のみで、その他産休育休予定者がいるため、欠員状態は解消できず、更なる人材確保に取り組む必要がある。
- ③「東山田地域ケアプラザ」は長期育児休業者1名分の欠員でスタートし、退職者1名が発生したが、年度途中採用者2名を確保し欠員は解消された。
- ④管理部事務職員については、業務量増に対応するため嘱託職員からの雇用変更者の他、2名を年度途中に採用したが、退職者1名が発生し、更なる人材確保に取り組む必要がある。

んでいる。

### (3) 収支状況

令和6年度予算では約1,946万円の黒字を見込んでいたが、自立支援給付費の単価改定等により事業収入が増収となった一方、人件費や諸物価高騰による支出増があり、最終的には約10,812万円の黒字となった。収入面では障害福祉事業の報酬単価改定で自立支援給付費が約11,640万円と大幅な増収となり全体では約19,775万円の増収となった。一方、支出面では職員の入退職等での人件費の変動やその他諸物価高騰による支出があり全体で約10,908万円の支出増となった。また、(独)福祉医療機構より4,300万円を借り入れ、「東やまたレジデンス・東山田地域ケアプラザ・東やまた工房(短期入所)」の設備更新工事を行った。これらを受け、将来への備えとして新たに7,000万円を積立金に積み立てることとした。

### (4) 施設整備関係

- ①令和6年度下半期に「東やまたレジデンス・東山田地域ケアプラザ・東やまた工房(短期入所)」の都市ガス化工事、一部の空調機更新工事および敷地内のアスファルト舗装打替工事を行った。ただし、同建物の高圧電気設備の更新は施工予定業者との協議の結果、適切な時期に実施することが難しいため、次年度(令和7年度)に実施する方向で調整した。
- ②建物の老朽化に伴う「まるんワークス」の移転については、横浜市開発審査会にて移転予定先の新築建物建設許可を得られ、令和7年7月の移転の目途がついた。
- ③「東山田地域ケアプラザ」通所介護事業の事業転換については、行政から内諾を得た通り「東やまたレジデンス」生活介護事業とする方向で準備を進めてきたが、行政の手続きに時間がかかり、令和6年度中の事業転換はできなかった。

### (5) 行政指導関係

令和6年9月2日に「東山田地域ケアプラザ」に対する実地指導が行われ、文書指摘はなかったが、口頭指摘事項1項目については改善を行った。令和7年2月21日に「横浜日吉就労支援センター」に対する実地指導が行われたが、要報告事項、通知事項のいずれもなかった。

## 3 事業概況

### (1) 事業関係

- ①障害福祉サービスは一部の事業所で新型コロナウイルスの感染拡大で短期間休業したが、ほぼ通常どおりのサービスを提供した。施設利用者のレクリエーション活動も従来通り実施している。
- ②生活介護事業所「ポルト能見台」の従たる事業所「ナビス氷取沢」は、利用者が増加しているため12月1日付で指定を受け、独立した事業所として運営を開始した。
- ③就労移行支援事業所「ワークアシスト」は長年利用定員を下回る利用が続いているため、10月1日付で利用定員減の手続きを行った。

### (2) 苦情・事故事件関係

令和5年度に横浜市福祉調整委員会へ申し立てのあった「東やまたレジデンス」利用者の家族からは、引き続き支援のあり方をめぐっての指摘や要望が頻繁に示されている。苦情解決事業報告会を令和6年10月31日に開催し、令和5年度の苦情・ヒヤリハットおよび事故報告を行った。

### (3) 虐待防止関係

虐待防止委員会(身体拘束適正化委員会)は年2回の定期開催をすることとし、令和6年7月24日、11月27日に開催し研修実施状況報告、事案報告と改善検討を行った。

## 北部方面障害福祉部

### 施設支援 1 課

#### 「東やまた工房」

##### 1. 事業概況

生活介護(定員38名)、短期入所(定員1名)、日中一時支援(定員1名)を提供した。部長が課長(管理者)を兼務し、係長(サービス管理責任者)、主任2名を配置した。日中活動は受注作業(電子部品の組立、ポスティング等7社から受注)、近隣のスポーツ会館の清掃ボランティアなどの日中活動の提供を継続した。余暇活動は小グループの日帰りレクリエーションを実施した。個別支援計画は保護者面談や電話で内容説明を行い、同意を得た。感染防止委員会を開催し、感染予防について改善策を講じた。社会福祉士実習として2名の学生を受け入れた。

##### 2. 事業実績

###### (1)生活介護事業(定員 38 名・現員 38 名)

###### ①利用者概況(令和7年3月31日現在)

###### (ア)障害程度区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	1	4	12	17
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	1	2	9	12
	女	0	0	0	0	0	1	3	4
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	1	1	2	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	男	0	0	0	0	3	7	23	33
	女	0	0	0	0	0	1	4	5

###### (イ)年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	1	7	10	15	33	47歳 1ヶ月
女性	0	0	0	2	3	5	50歳 2ヶ月
計	0	1	7	12	18	38	47歳 5ヶ月

###### (ロ)利用期間状況

	～1年	1年～ 3年	3年～ 5年	5年～ 10年	10年～ 15年	15年 ～	計	1人当たり 平均入所期間
男	0	0	0	3	5	25	33	20年 11ヶ月
女	0	0	0	1	0	4	5	20年 4ヶ月
計	0	0	0	4	5	29	38	20年 10ヶ月

###### (ハ)長期入院等状況

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

###### (ニ)利用方法状況

自 力	6
保護者送迎	4
送迎バス	1
そ の 他	27
計	38

(h)利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20
平均通所日数	20.2	20.4	19.2	21.2	16.3	17.9	21.2	19.4	19.3	18.2	17.0	19.2

(g)入退所状況 なし

(2)短期入所事業(定員:1名)

(ア)利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
19	20	20	19	20	18	20	20	21	24	20	19	240

(イ)障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	1	1	9	11
女	0	0	0	0	0	0	0

(ウ)年齢別状況(実数)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	合計
男	0	3	3	5	11
女	0	0	0	0	0

(3)日中一時支援事業(定員:1名) のべ8日・実数4人

3. 支援状況

(1)日中活動

ケアプラザ広報物のポスティング、電子部品や自動車部品の組み立て、宅配ずしの出前セット作り等の受注作業を実施した。近隣の東山田スポーツ会館の清掃活動を実施した。個人や少人数による運動プログラムを実施した。運動プログラムは前年度より実施回数を増やし、新たな器具も購入してプログラムの充実に努めた。

(2)生活支援

マスク着用や手指消毒など感染症対策をとりながら個別の買物や飲食等の外出支援を行った。

(3)余暇支援

利用者の好みに合わせ、小グループによる日帰りレクリエーションを実施した(7回)。ガイドヘルパー利用者にはスムーズな外出活動になるようヘルパーとの連絡調整や助言を行った。

(4)その他

検温チェック、マスク着用の支援、手洗いや手指消毒、健康観察による感染症対策を継続した。健康診断を実施した。希望者にインフルエンザ予防接種や新型コロナウイルスのワクチン接種を実施した。特別支援学校の生徒実習や社会福祉士養成の学生実習を受け入れた。時短勤務職員など多くの職員が参加できるよう日中に会議を設定し話し合いの機会を設けた。

4. 苦情解決事業 なし

施設支援2課

「東やまたレジデンス」

1 事業概況

生活介護(定員50名)、施設入所支援(定員40名)、短期入所(定員3名)、日中一時支援(定員2名)を提供した。3係体制のもと、係長以下、日中支援と生活支援にそれぞれ主任を配置し、日中支援部門と生活(夜間)支援部門が連携して支援を行った。

生活介護事業はアルミ缶リサイクル作業や自立課題の提供を行い、加齢状況に合わせた運動メニューや余暇活動を実施した。余暇活動は通所利用者対象に関東近県への車や新幹線を利用した宿泊レクリエーションを3グループで実施した。施設入所支援事業は近隣のクリニックによる訪問診療を継続した。インフルエンザ予防接種は秋の健康診断時に希望者に対し実施した。休日や平日の外出・外食は個別に提供し、テイクアウトやデリバリーも導入して活動の選択肢を増やした。

嘱託医による希望者への新型コロナウイルスのワクチン接種を実施した。罹患者が発生した場合に備え、対応ルールや衛生物品の整理を行った。感染防止委員会を開催して、衛生管理、健康管理、感染予防について改善策を確認した。社会福祉士養成施設の学生実習を5名受け入れた。

入所利用者がユニットから失踪する事故が2件あった。1件目は7月に野外に失踪後、重度の熱中症により入院対応となった。2件目は12月に近隣コンビニエンスストア内で無銭飲食と店内の汚損があり、法人で被害額を弁済した。失踪が重大な事故に直結する出来事となったため、失踪時の初期捜索手順や連絡手段などを見直した。歩行時の転倒や予測できない体調不良による緊急搬送要請もあり、利用者の移動時や住環境の整備も課題となっている。

夜間支援職員が定着せず短期間で退職することも増え、人員不足の状況が続いている。新採用職員の業務引継ぎには十分な期間を設け、夜勤の負担軽減のためのフォロー体制の見直しを実施している。

## 2 事業実績

### (1) 生活介護事業(定員 50 名・現員 50 名)

#### ①利用者概況(令和7年3月31日現在)

##### (ア) 障害程度区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳A1	男	0	0	0	0	0	1	32	33
	女	0	0	0	0	0	1	5	6
療育手帳A2	男	0	0	0	0	0	3	4	7
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳B1	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳B2	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	男	0	0	0	0	0	4	37	41
	女	0	0	0	0	0	2	7	9

##### (イ) 年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均
男性	0	0	4	12	24	1	41	49.7歳
女性	0	0	2	3	3	1	9	48.3歳
計	0	0	6	15	27	2	50	49.0歳

##### (ウ) 利用期間状況

	～1年	1～2年	3～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年～	計	1人当たり平均利用期間
男性	0	0	0	1	5	4	4	27	41	24年8か月
女性	0	1	0	1	1	3	0	3	9	18年0か月
計	0	1	0	2	6	7	4	30	50	21年4か月

## (エ) 長期入院等状況

状 況	人 数
1 か月以上 3 か月未満の継続入院者	0
3 か月以上の継続入院者	0
1 か月以上 3 か月未満の継続帰宅者	0
3 か月以上の継続帰宅者	0

## (オ) 利用方法状況

自 力	0
保護者送迎	3
送迎バス	1
そ の 他	46
計	50

## (カ) 利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
平均日数	21.4	22.0	20.4	22.2	19.9	20.5	22.5	21.0	21.4	21.0	19.0	21.6

## (キ) 入退所状況

- ・ 入所者：0名
- ・ 退所者：0名

## (2) 施設入所支援(定員 40 名・現員 40 名)

## ①利用者概況(令和 7 年 3 月 31 日現在)

## (ア) 障害程度区分状況

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合 計
療育手帳A1	男	0	0	0	0	0	1	21	22
	女	0	0	0	0	0	1	5	6
療育手帳A2	男	0	0	0	0	0	1	3	4
	女	0	0	0	0	1	1	2	4
療育手帳B1	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳B2	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
合 計	男	0	0	0	0	0	3	25	28
	女	0	0	0	0	1	3	8	12

## (イ) 年齢別状況

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均
男性	0	0	1	10	16	1	28	50.8歳
女性	0	0	2	5	4	1	12	48.0歳
計	0	0	3	15	20	2	40	49.4歳

## (ウ) 利用期間状況

	～1年	1～2年	3～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年～	計	1人当たり平均利用期間
男性	0	1	1	4	1	0	2	19	28	23年1か月
女性	0	1	0	4	1	0	0	6	12	17年9か月
計	0	2	1	8	2	0	2	25	40	21年6か月

## (エ) 長期入院等状況

状 況	人 数
1 か月以上 3 か月未満の継続入院者	0
3 か月以上の継続入院者	0
1 か月以上 3 か月未満の継続帰宅者	0
3 か月以上の継続帰宅者	0

(オ) 入退所状況

- ・入所者：0名
- ・退所者：0名

(3) 短期入所事業(定数3名)

(ア) 利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
79	78	67	82	74	79	91	83	87	81	78	80	959

(イ) 障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	1	6	25	32
女性	0	0	0	0	1	1	2

(ウ) 年齢別状況(実数)

	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	合計
男性	8	14	7	3	32
女性	0	2	0	0	2

(4) 日中一時支援事業(定数：2名) のべ17.0日・実数22人

3 苦情解決事業

施設入所支援事業と生活介護事業を利用する利用者家族から、家族が居室に常設した遠隔カメラの映像を通して職員の食事提供時の対応方法や排泄タイミングに対する指摘が電話にて頻繁に入り、定期面談においても家族からの要望が中心となっている。

同じ家族から寝具等生活用品に関する自己負担の取り扱いに対しての苦情があった。家族が横浜市健康福祉局に連絡を入れた後に、この件に対して法人側にも健康福祉局から問い合わせがあった。施設入所支援事業における生活用品の法人負担に対する指示があり、生活用品購入の取り扱いを是正した。

施設支援 4 課

専任次長が「リンク」「まろん(YOU)」の2事業所を掌握し、係長、主任等を配置して施設サービスを提供した。

「リンク」

1 事業概況

日中活動は受注活動を実施した。余暇活動は日帰りレクリエーションと小グループによる外食支援を実施した。

2 利用実績

(1) 生活介護事業(定員20名・現員22名)

①利用者概況(令和7年3月31日現在)

(ア) 障害支援区分状況

障害支援区分	非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 A2	男	0	0	0	1	5	1	7
	女	0	0	0	1	0	0	1
療育手帳 B1	男	0	0	1	5	1	1	8
	女	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	2	1	3
	女	0	0	0	0	0	0	0
その他 (身体2級)	男	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	1	7	10	3	21
	女	0	0	0	1	0	0	1

## (イ)年齢別状況

	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳～	計	平均年齢
男性	0	2	2	5	12	21	50 歳 0 ヶ月
女性	0	0	0	1	0	1	41 歳 7 ヶ月
計	0	2	2	6	12	22	49 歳 7 ヶ月

## (ウ)利用期間状況

	～1 年	1～3 年	3～5 年	5～10 年	10～15 年	15 年～	計	平均入所期間
男	1	1	0	3	16	0	21	10 年 3 ヶ月
女	0	0	0	1	0	0	1	5 年 4 ヶ月
計	1	1	0	4	16	0	22	10 年 0 ヶ月

## (エ)長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

## (オ)利用方法状況

自 力	13
保護者送迎	0
送迎バス	1
そ の 他	8
計	22

## (カ)利用日数状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
要通所日数	21	21	20	22	17	19	23	20	20	19	18	20
平均通所日数	20.1	19.6	18.9	20.3	14.4	18.0	20.8	19.1	19.0	18.0	17.4	18.5

## (キ)入所状況

入所：28 歳（男性）保土ヶ谷区（都筑区グループホーム居住）  
発達障害者支援センターから紹介

## 3 支援状況

## (1)日中活動

フィルター加工、文房具類組立て・包装、プラスチック製品のシール貼り、建材資材の組み立て、自動車部品の組立、切手台紙貼り、コーヒーのドリップパック詰め等の受注作業を実施した。

## (2)生活支援

ガイドヘルパーと支援方法について緊密に連携した。希望者にインフルエンザ予防接種や新型コロナウイルスのワクチン接種を実施した。

## (3)新型コロナウイルス感染状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用者	0	0	0	2	6	1	0	0	0	0	0	0
職 員	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

## 4 苦情解決事業 なし

## 「まるんワークス(YOU)」

## 1 事業概況

受注活動を中心に実施した。余暇活動は日帰りレクリエーションと小グループによる外食支援を実施した。

## 2 事業実績

## (1)生活介護事業（定員 24 名・現員 24 名）

## ①利用者概況(令和 7 年 3 月 31 日現在)

## (ア)障害支援区分状況

障害支援区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	0	5	5
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	2	7	5	14
	女	0	0	0	0	0	1	1	2
療育手帳 B1	男	0	0	0	1	0	0	1	2
	女	0	0	0	0	1	0	0	1
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	1	2	7	11	21
	女	0	0	0	0	1	1	1	3

(イ) 年齢別状

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	計	平均
男性	0	2	8	3	8	21	43歳5か月
女性	0	0	0	0	3	3	53歳3か月
計	0	2	8	3	11	24	44歳7か月

(ウ) 利用期間状況

『まろんワークス』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	0	0	1	2	8	11	18年2ヶ月
女	0	0	0	0	0	2	2	23年0ヶ月
計	0	0	0	1	2	10	13	18年3ヶ月

『YOU』

	～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年～	計	平均入所期間
男	0	0	1	0	0	9	10	18年2ヶ月
女	0	0	0	0	0	1	1	23年0ヶ月
計	0	0	1	0	0	10	11	18年7ヶ月

(エ) 長期入院等状況

状 況	人 数
1か月以上3か月未満の継続入院者	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅者	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ) 利用方法状況

自 力	8
保護者送迎	6
送迎バス	1
そ の 他	9
計	24

(カ) 利用日数状況

『まろんワークス』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20
平均通所日数	20.4	20.5	19.3	21.3	16.6	18.7	21.8	19.7	19.8	18.5	17.8	19.5

『YOU』

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要通所日数	21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20
平均通所日数	18.4	18.0	18.1	20.7	14.6	18.1	21.2	18.8	17.4	17.6	14.9	17.1

(キ) 入退所状況 なし

(2) 日中一時支援事業(定数：2名) 利用実績：のべ53日 実数2人

### 3 支援状況

#### (1) 日中活動

受注作業として、情報誌のポスティング、クリーニング店のハンガーリサイクル、自動車部品組立て、玩具のパッキング、区役所地域振興課からの封入作業等を行った。  
クリーンタウン横浜事業センターの清掃作業を継続した。

#### (2) 生活支援

インフルエンザ予防接種、新型コロナウイルスのワクチン接種を希望者に実施した。  
嚥下に課題のある利用者への誤嚥防止の体操や食事の際に必要な支援を提供した。

### 4 苦情解決事業 なし

## 地域支援課

### 「共同生活援助事業」(北部方面グループホーム・12 ホーム)

#### 1 事業概況

1 係 4 ホームずつの 3 係体制で運営し、係長、主任を配置して 12 か所のグループホームを運営した。前年度から引き続き、居宅介護ヘルパーを併用し、パート職員による夜間及び週末の勤務体制を増やし、正職員は僅かながらも日中勤務の時間を増やすよう勤務シフトを整備することで、支援内容の検討や準備に振り替えられるようにした。

#### 2 事業実績

##### (1) 利用者概況(令和 7 年 3 月 31 日現在)

事業所名	定数	障害支援区分						性別		年齢				
		1	2	3	4	5	6	男	女	20～	30～	40～	50～	60～
ハウス BEE	5	0	0	0	0	1	4	5	0	0	0	0	4	1
ハウス SEA	4	0	0	0	1	3	0	4	0	0	0	0	3	1
ハウス DOUX	5	0	0	0	0	1	4	5	0	0	1	1	2	1
ハウス EEL	5	0	0	0	3	1	1	5	0	0	0	0	5	0
ハウス F	5	0	0	2	3	0	0	5	0	0	0	2	3	0
ハウス G	6	0	0	0	1	1	4	6	0	0	0	0	4	2
ハウス i	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	0	3	2	0
ハウス K	5	0	1	1	3	0	0	5	0	0	2	1	1	1
ハウス Lm	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	0	1	4	0
ハウス Muu	5	0	0	0	0	3	2	5	0	0	2	1	2	0
ハウス P	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	2	1	2	0
ハウス Q	5	0	0	0	0	1	4	0	5	0	0	2	3	0
合計	60	0	1	3	11	17	28	55	5	0	7	12	35	6

##### (2) 利用日数状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
のべ開所日数	344	353	342	357	338	341	359	343	348	345	321	358
平均利用者数	52	50.5	51.8	51.4	50.8	50.8	50.9	51.1	50.9	50.6	50.6	51.6

(入退所状況) 入所：0名 退所：0名

##### (3) 新型コロナウイルス感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	1	2	4	2	1	1	0	0	0	0	1
職員	1	0	0	2	3	0	0	0	1	0	0	0

### 3 支援および運営状況

他法人の事業所見学、eラーニング、オンライン研修や、リスクマネジメントや嚙下に関する対面研修に参加した。家族の高齢化等により週末利用が増えており、個別に後見人申し立てをサポートし、自宅からホームに拠点を移す準備を進めている。感染防止委員会を設置し、罹患時にスムーズに対応できるよう消耗品や備品の管理方法を整えた。

### 4 苦情解決事業 なし

#### 「ヘルパーセンターやまびこ」

##### 1 事業概況

管理者、サービス提供責任者(4名)、パート職員(登録ヘルパー・事務員)を配置した。介護給付事業として居宅介護、行動援護、重度訪問介護、地域生活支援事業として移動支援を実施した。

##### 2 事業実績

###### (1) 派遣実績(令和7年3月31日現在)

	移動支援	行動援護	居宅介護	重度訪問介護
登録ヘルパー	58名	43名	54名	4名
延べ利用者数	256名	370名	560名	15名
稼働件数	963件	1,647件	26,552件	46件
稼働時間	2,831時間	4,941時間	23,269時間	101時間

###### (2) 研修事業

###### ① 知的障害者ガイドヘルパー養成研修(対面)

令和7年3月6日～3月31日 受講生：28名(定員20名)

※定員を上回る応募があり、定員を増やして実施した。

###### ② 行動援護従業者養成研修(対面形式)

令和6年9月9日～9月11日 受講生：24名(定員25名)

### 3 サービス利用動向・提供状況

移動支援は登録ヘルパー数が増加した一方で稼働件数は横ばいであった。1件あたりの平均稼働時間は増加した。行動援護は夏季の高温が続いたことでの外出控えの影響等により稼働件数が2割減少した。居宅介護は看護師資格保有者の登録が増加したが、ヘルパー1名あたりの稼働日数・稼働時間が減少傾向で、全体的な稼働件数と稼働時間は微減した。グループホームの週末の居宅介護利用ニーズが増えており、人材確保をグループホームと連携して行っていく必要がある。重度訪問介護は稼働件数・稼働時間が5割減となった。

### 4 苦情解決事業 なし

#### 「計画相談支援事業」

##### 1 事業概況

管理者1名、相談支援専門員3名(兼務1名)を配置した。生活介護事業所および施設入所支援事業所の利用者の計画相談支援を行った。

##### 2 事業実績

登録者数：192名(新規契約：2名)

サービス利用支援(計画作成)：164件

継続サービス利用支援(モニタリング報告書作成)：219 件

その他(個別支援会議、面談等)：195 件

### 3 支援および運営状況

利用支援(計画作成)、継続サービス利用支援(モニタリング)とともに基本相談として日常的な相談に応じた。電話やメール等の非対面での聞き取りを実施し、可能な限り面談や事業所訪問を行った。集団指導や各区の自立支援協議会に参加した。

### 4 苦情解決事業 なし

## 南部方面障害福祉部

### 施設支援 3 課

#### 「ポルト能見台」「ナビス氷取沢」

#### 1 事業概況

12月1日付で「ナビス氷取沢」が「ポルト能見台」の従たる事業所から単独の生活介護事業所(定員20名)として独立した。ポルト能見台は生活介護事業(定員50名)、短期入所事業(定員1名)、日中一時支援事業(定員2名)の障害福祉サービスを提供した。ポルト能見台は次長(管理者・サービス管理責任者兼務)、係長(サービス管理責任者)、看護師(非常勤)、管理栄養士(正職員)を配置した。支援体制は2エリア(各エリア2グループ)に分け、各グループに支援員(正職員3名・パート職員2～4名)を配置した。ナビス氷取沢は係長(管理者・サービス管理責任者兼務)、支援員(正規2～3名・パート職員4名)を配置した。新型コロナウイルス感染予防等を徹底したが、感染者が複数発生し6月3日～6月5日まで「ポルト能見台Aエリア」の通所自粛要請を行った。

#### 2 事業実績

##### (1)生活介護事業

(ポルト能見台：定員50名・現員49名、ナビス氷取沢：定員20名・現員18名)

##### ①利用者概況(令和7年3月31日現在)

##### (ア)障害程度区分状況(ポルト能見台)

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	1	6	14	21
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	3	7	13	23
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
療育手帳 B1	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	男	0	0	0	0	6	14	27	47
	女	0	0	0	0	0	0	2	2

##### (イ)障害程度区分状況(ナビス氷取沢)

障害程度区分		非該当	1	2	3	4	5	6	合計
療育手帳 A1	男	0	0	0	0	0	3	2	5
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 A2	男	0	0	0	0	3	4	1	8
	女	0	0	0	0	2	0	0	2

療育手帳 B1	男	0	0	0	0	1	1	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
療育手帳 B2	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	男	0	0	0	0	4	9	3	16
	女	0	0	0	0	2	0	0	2

(イ) 年齢別状況(ポルト能見台)

	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男	0	6	15	14	12	47	42歳2ヶ月
女	0	1	1	0	0	2	28歳0ヶ月
計	0	7	16	14	12	49	41歳7ヶ月

年齢別状況(ナビス氷取沢)

	～19歳	20～29	30～39	40～49	50歳～	計	平均
男	2	7	4	3	0	16	30歳3ヶ月
女	1	0	0	0	1	2	35歳6ヶ月
計	3	7	4	3	1	18	30歳10ヶ月

(ウ) 利用期間状況(ポルト能見台)

年	～1年	1～3	3～5	5～10	10～15	15年～	計	平均期間
男	0	1	2	3	3	38	47	18年1ヶ月
女	0	1	0	0	0	1	2	9年4ヶ月
計	0	2	2	3	3	39	49	17年7ヶ月

利用期間状況(ナビス氷取沢)

	～1年	1～3	3～5	5～10	10～15	15年～	計	平均期間
男	16	0	0	0	0	0	16	0年4ヶ月
女	2	0	0	0	0	0	2	0年4ヶ月
計	18	0	0	0	0	0	18	0年4ヶ月

(エ) 長期入院等状況(ポルト能見台)

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院者	1
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅者	0

長期入院等状況(ナビス氷取沢)

状 況	人数
1か月以上3か月未満の継続入院	0
3か月以上の継続入院者	0
1か月以上3か月未満の継続帰宅	0
3か月以上の継続帰宅者	0

(オ) 利用方法状況(ポルト能見台)

自 力	7
保護者送迎	22
送迎バス	9
その他	11
計	49

利用方法状況(ナビス氷取沢)

自 力	6
保護者送迎	8
送迎バス	1
その他	3
計	18

(カ) 利用日数状況(ポルト能見台)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要通所日数	21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20	239
平均日数	19.3	18.8	17.3	20.3	15.1	17.4	20.0	18.3	18.1	17.3	16.3	18.1	18.0

利用日数状況(ナビス氷取沢)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要通所日数	21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20	239
平均日数	18.6	16.5	18.0	19.7	14.4	17.0	19.6	17.3	17.1	17.3	16.6	18.8	17.6

### (キ)入退所状況

- ・ポルト能見台(従たる事業所「ナビス氷取沢」を含む)

入所者：「ポルト能見台」なし

「ナビス氷取沢」

18歳女性 磯子区(4月1日入所) 金沢支援学校

18歳男性 金沢区(4月1日入所) 金沢支援学校

18歳男性 金沢区(4月8日入所) 金沢支援学校

退所者：「ポルト能見台」 33歳男性 西区(3月14日退所) 施設入所のため  
従たる事業所「ナビス氷取沢」 利用者19名(11月30日退所)

- ・ナビス氷取沢(単独事業所)

入所者：利用者19名(12月1日) 従たる事業所「ナビス氷取沢」より

退所者：31歳女性 金沢区(2月17日退所) 施設入所のため

### (2)「ポルト能見台」短期入所事業(定数：1名)

#### ①利用状況(宿泊延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11	11	15	13	11	21	19	24	14	7	12	14	172

#### ②障害程度区分状況(実数)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	0	2	3	11	16
女	0	0	0	1	0	0	1

#### ③年齢別状況(実数)

	～19歳	20～29	30～39	40歳～	合計
男	0	5	8	3	16
女	1	0	0	0	1

### (3)日中一時支援事業(定数：2名)利用者数 15人 利用実績 24.8日

## 3 支援および運営状況

### (1)支援方針

支援会議の本人参加や、アセスメントの検討など意思決定支援に基づいた支援計画の準備を行った。個別支援計画を策定し半期ごとに支援内容の確認と見直しを行った。家族への支援計画の説明は郵送や電話で実施するなどの配慮をした。利用者を取りまく家族や地域資源、医療機関との協力・連携に務めた。

### (2)日中支援

利用者の特性に応じた作業環境や日課を提供し、受注作業(部品組立て・梱包など)を中心に自立的に活動ができるよう支援した。金沢区土木事務所からの公園清掃委託業務は継続した。

### (3)余暇支援

昨年度に引き続き、日帰りレクを9グループに分けて感染予防に留意しながらそれぞれ実施した。

### (4)短期入所・日中一時支援サービス

サービス提供日以外の希望に対しては入所事業所の利用を勧奨した。短期入所の利用実績は前年度より減少し、ほとんどが定期利用だった。日中一時支援は前年度に対し利用者数は増えたが利用実績は減少した。

### (5)地域生活支援

グループホーム「ハウスヒルサイド」「ハウスJOY」「ハウスノア」「ハウスオーク」への車輛送迎を行った。通所途上の付き添いや定期的な状況把握を行った。家庭生活や週末及び通所の移動に困難をきたしている利用者と家族に対して入所事業所の短期サービス、移動支援サービスの利用調整を行った。

### (6)運営関係(教育・学生実習・啓発活動等)

日常業務における現任訓練、臨床心理士による専門研修や新任研修、外部派遣研修、職員全体に向けて、虐待防止研修、感染症予防研修を行った。支援学校高等部生徒(1名)、福祉系大学生(2名)の実習を受け入れた。

また、インターンシップ（現場見学と障害特性の体験プログラム：6名）を受け入れた。

(7) 新型コロナウイルス感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 苦情解決事業

令和6年度の苦情解決事業はなかった。令和5年度末の虐待案件の利用者について、今年度より関係機関との定期的な情報交換を実施しながら日中活動を中心とした過ごし方の見直しを行い集中的な支援・組み立てを実施している。

共同生活援助事業（南部方面グループホーム・4ホーム）

1 事業概況

上半期は課長(管理者兼サービス管理責任者)、主任を配置したが、障害福祉事業部の組織再編や職員の退職に伴い、下半期は部長(管理者兼サービス管理責任者)、主任を配置した。日中活動は入居者全員が「ポルト能見台」を利用した。感染症予防には十分な注意をしていたが、5月末から6月上旬にかけて新型コロナウイルスの感染者が発生し、4ホームで計8名の利用者が感染した。

2 事業実績

(1) 利用者概況(令和7年3月31日現在)

事業所名	定数	障害支援区分						性別		年 齢			
		1	2	3	4	5	6	男	女	20~	30~	40~	50~
ヒルサイド	5	0	0	0	1	2	2	5	0	0	0	1	4
JOY	5	0	0	0	0	2	3	5	0	0	0	2	3
ノア	5	0	0	0	0	1	4	5	0	0	2	0	3
オーク	5	0	0	0	2	0	3	5	0	0	1	3	1
合 計	20	0	0	0	3	5	12	20	0	0	3	6	11

3 支援および運営状況

家族の高齢化等の家庭状況の変化において祝日や週末利用に対応できるよう、ポルト能見台の職員をグループホームと兼務させ下期からの支援体制を整えた。5月末から6月にかけてポルト能見台やグループホームで新型コロナウイルスの感染者が多数発生し、緊急体制を組んで対処した。

4 新型コロナウイルス感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

5 苦情解決事業 なし

## 相談支援部

### 相談課

#### 「横浜市発達障害者支援センター」

##### 1 事業概況

センター長を含めた相談員8名と発達障害者地域支援マネジャー4名を配置し、相談支援、機関コンサルテーション、広報啓発、機関連携等を行った。事業所コンサルテーションに収まらない困難ケースに対し地域支援マネジャーと相談員が役割分担し地域の支援機関と協働する支援形態が増えた。

##### 2 事業実績(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

###### (1) 相談支援

###### ① 相談件数

(ア) 実支援人数：352名(前年度298名)

新規219名(前年度177名) 男性136名・女性83名 市内217名・市外2名  
継続133名(前年度121名)

(イ) のべ件数 2,807件(前年度2,354件)

相談：406名／2,229件(前年度304名／1,893件)

調整会議：97名／287件(前年度49名／131件)

機関コンサル：291件(前年度330件)

内訳：区福祉保健センター 59件 相談支援事業所 176件 就労移行・継続事業所6件 生活介護事業所 22件 その他福祉サービス事業所 13件  
医療機関 3件 学校 1件 その他 11件

(ウ) 年齢 中高生期 9名 19～39歳 235名 40歳以上 102名 不明 6名

###### (2) 地域支援マネジャーによる事業所支援

知的障害を伴う自閉症や行動障害を持つ人の支援を行う事業所に対して発達障害者地域支援マネジャーが事業所コンサルテーション等を行った。

###### ① 支援件数

(ア) 新規受付：6事業所

(生活介護事業所2、グループホーム2、その他2)

(イ) のべ件数：928件(前年度799件)

生活介護事業所235件 相談支援事業所145件 その他のサービス事業所510件  
(成人入所、グループホーム、地域活動支援センター、就労継続事業など)、  
障害児入所施設11件、その他27件

###### (3) 機関連携・広報啓発

###### ① 地域連携プログラム

各区の一次相談3機関(区高齢障害支援課、基幹相談支援センター、生活支援センター)との打ち合わせ会議の他に、事例共有や事例検討、区のニーズに合わせた研修実施等を行った。

###### ② 関係機関との連絡会議等への参加

横浜市発達障害検討委員会 2回

件数：126件(各区3機関連絡会議2件、各区自立支援協議会42件、その他82件)

###### ③ 研修・セミナー

(ア) センター主催または共催：11回(参加者322名)

発達障害相談基礎研修：1回 85名

発達障害相談応用研修：4回 104名

強度行動障害支援力向上研修(基礎)：3回 183名

強度行動障害支援力向上研修(実践)：1回 53名

強度行動障害支援力向上研修(フォローアップ)：1回 18名

支援者ミーティング：3回 15名

- (イ)講師依頼：12件 受講者数 1,089名
- (ウ)企業等への啓発(見学対応を含む)：4件4名
- ④法人機関誌『マンスリーやまた』編集発行(年4回)

### 3 苦情解決事業 なし

#### 「横浜市学齢後期発達相談室くらす」

##### 1 事業概況

室長を含めて職員6名(正職員3名、嘱託1名、パート職員2名)を配置して、福祉型学齢後期障害児支援事業(横浜市委託)を実施し、発達障害のある(疑いを含む)中高生の相談支援を中心に事業を展開した。発達障害者支援センター事業および横浜市二次相談支援機関として、横浜市立校に留まらない教育分野を含む関係機関との連携に努めた。

市内4か所目の学齢後期障害児支援事業所の開所により初回相談までの待機期間は6か月から3か月に短縮したが、6月から正職員1名の欠員が続き、相談件数は昨年度を下回った。

##### 2 事業実績(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

###### (1)相談支援

- ・実支援人数：
  - 新規 80名 男性 55名 女性 25名
  - 継続 148名 男性 101名、女性 47名
  - 終結 27名[年齢超過による]

###### ①年齢構成：実人数

小学生	中1	中2	中3	高1	高2	高3	19歳以上	合計
0名	25名	44名	42名	34名	48名	36名	27名	256名

###### ②相談方法(のべ件数)

相談方法	件数
来所	1,561
訪問	43
電話(インテーク相談以降)	367
報告書作成等	14
合計	1,985

###### ③相談対象者(のべ件数)

対象者	件数
本人	718
家族	976
教職員	95
関係機関職員	236
合計	2,025

###### ④相談内容：のべ件数(主な相談内容を3項目までカウント)

相談内容	件数
家庭での対応	962
学校・通所先での対応	1,287
不適応行動への対応	88
対人関係	142
感情コントロール	71
医療機関利用	324
不登校・ひきこもり	81
進路	953
退院後の生活	3
制度資源利用	412
放課後・余暇の過ごし方	337
その他	17
合計	4,677

(2) グループ活動等

- ① 中高生対象グループ活動 10回(のべ44名参加)
- ② 保護者勉強会 1回(45名参加)

(3) 機関連携

- ① ケース会議 22回
- ② 自立支援協議会・連絡会議等への参加 31件(うち教育関係23件)
- ③ 外部講師依頼 4件
- ④ 事業説明訪問・見学対応 3機関

3 苦情解決事業 なし

「横浜日吉就労支援センター」

1 事業概況

センター長を含めて職員6名を配置し、横浜市障害者就労支援センター事業として障害者本人、家族、関係機関、企業からの就労相談等を行った。年度当初の人事異動に伴い、継続相談に対しては丁寧な引き継ぎを行うとともに、新規相談は2名体制で相談にあたった。新規相談の約8割は既に就労しているケースの定着支援の相談であった。一方、求職支援の相談には、すぐに就職に繋がるケースには就労支援を行い、すぐに就職に繋がりにくいケースについては適切な機関への引き継ぎを丁寧に行った。

2 事業実績(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(1) 就労相談

① 実支援人数

新規相談：70名(前年度：57名) 事前相談：36名(前年度：45名)  
継続相談：234名(前年度：195名)

※継続相談は前年度以前からの登録者と未登録者の合算

② のべ件数：3,293件(前年度3,057件)

来所相談：362件 電話・Web：1,576件 FAX・E-mail：734件 事業主訪問：420件  
通所先訪問：0件 その他訪問：6件 カンファレンス：162件 同行：33件

(2) 就労支援

新規就職者：15名(前年度：7名)  
離職者：9名(前年度：9名)

(3) 職業評価・職場実習

職業評価実施者：11名(前年度：10名)  
職場実習実施件数：4件(前年度：6件)

(4) 職場開拓

企業支援：30社(前年度：31社)  
職場開拓・アセスメント：0社(前年度：1社)

(5) 機関連携・ネットワーク構築

自立支援協議会：13回参加  
就労支援センター連絡会：6回参加  
港北区自立支援協議会就労支援連絡会主催余暇支援“はまりば”：2回実施

3 苦情解決事業 なし

## 「ワークアシスト」

### 1 事業概要

管理者、サービス管理責任者、就労支援員、職業指導員、生活指導員、就労定着支援員、訪問型職場適応援助者を配置し、就労移行支援事業、就労定着支援事業、職場適応援助者助成事業を行った。就労移行支援事業は6月から新規利用者の募集を停止し、10月から定員を20名から10名に減員した。

### 2 事業実績

#### (1) 就労移行支援事業(定員10名・現員10名)

作業エリアでの職業基礎訓練として模擬作業(パソコン操作訓練や名刺の編集印刷等)、職業評価ツール(幕張版ワークサンプル)、受注作業(大学等のDM封入作業、PCアダプターの検品作業、車の部品組立て等)を実施した。社会生活技能の訓練としてグループセッションを実施した。職場体験プログラムとして法人内部署での実習を行った。企業見学、企業実習、ハローワーク訪問など施設外での支援を実施した。新規利用受入れのための見学と体験実習を受け入れた。大学支援関係者に向けての情報交換会を開催し、発達障害のある学生の就職活動の状況や中小企業、教育機関、各福祉サービス等の視察を行い、就労支援のニーズの聞き取りを行った。

#### ①利用者状況(令和7年3月31日現在)

##### (ア) 障害程度

障害程度	B1	B2	精1	精2	精3	身	なし	合計
男性	0	2	0	3	1	0	2	8
女性	0	0	0	0	2	0	0	2
合計	0	2	0	3	3	0	2	10

##### (イ) 年齢

年齢	～19	20～	30～	40～	合計
男性	0	4	4	0	8
女性	0	1	1	0	2
合計	0	5	5	0	10

##### (ウ) 入退所者

新規入所者：8名(男性:6名/女:2名) 退所者：9名(就職:7名/進路変更:2名)

#### ②見学・体験実習

見学：計65名(利用希望者:14名/家族:10名/支援機関:32名/その他:9名)

体験実習：計18名

#### (2) 就労定着支援事業

就職後6ヶ月経過し、就職後3年6ヶ月までの就労者に対して、職場訪問や定期面談、生活支援を行った。定着支援事業終了後も個別の必要に応じてサポートを継続している。

利用者総数：21名(男性：17名/女性：4名) 定着率：約87.5%

離職状況：1名(30代男性・体調不良のため)

#### (3) 職場適応援助者助成金事業(ジョブコーチ)

実績なし

### 3 苦情解決事業 なし

## 「東山田地域ケアプラザ」

休止中の通所介護事業は、令和8年4月の事業転換を目指し障害者支援施設「東やまたレジデンス」の生活介護事業に事業転換するための都筑区と横浜市健康福祉局との協議を継続して実施した。居宅介護支援事業で年度途中の退職者が発生したが中途採用ができず所内の人事異動を行ったため、地域包括支援センターで1名欠員での事業実施となった。

## 1. 事業実績

(1) 通所介護事業 休止中

(2) 居宅介護支援事業

① 契約者数：204名(令和7年3月31日現在)

介護度別内訳	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数(人)	20	51	41	51	24	13	4
比率(%)	9.8	25.0	20.1	25.0	11.8	6.4	1.9

※要支援1、要支援2のプランは受託件数

② 要介護認定調査実施件数：82件

(3) 介護予防支援事業(令和7年3月31日現在)

契約者数：181件(内委託144件) 内訳：要支援1 49名 要支援2 132名

(4) 地域包括支援センター

① 相談実績 相談件数：1852件

・相談内容内訳

内容	件数
日常生活課題	488
消費者保護	1
成年後見制度	66
虐待	48
介護保険	1137
介護予防	8
行政サービス	14
インフォーマルサービス	6
入院・施設入所	103
その他の制度・サービス等	35
認知症	142
介護・医療(認知症以外)	108
高齢以外の分野	0
苦情	3
ケアマネ相談支援	67
その他	178

・援助関係

内容	件数
安否確認・状況把握	551
助言	900
情報提供(サービス・施設紹介等)	798
介護保険・行政サービス申請受付	204
他機関との調整	710
傾聴	542

② 介護予防ケアマネジメント業務(令和7年3月31日現在)

契約者数：111件(内委託69件)

内訳：要支援1 56名 要支援2 52名 事業対象者 3名

③ 介護予防普及強化事業

地域包括支援センターが実施する介護予防普及強化事業では、昨年同様、男性向けの事業展開を実施しており毎回15名程度の参加となっており好評を得ている。

事業名	実施回数・参加者	目的および内容
男の本気塾	10回実施 参加者総数118名	目的:①介護予防②男性の社会参加 内容:多彩な事業実施
からだ相談会 ※生活支援共催	5回実施 参加者総数107名	目的:①地域連携②総合相談受付③新たな活動の構築 内容:地域の事業所と共催での相談会

④自主事業(包括的・継続的プログラム事業)

事業名	実施回数・参加者	目的および内容
ケアマネサロン	12回実施 参加者総数42名	目的:①情報交換②ネットワークの構築 内容:勉強会含むサロンの開催
ケアマネ情報交換会	3回実施 参加者総数38名	目的:①情報交換②ネットワークの構築 内容:勉強会の開催

⑤自主事業(権利擁護事業)

事業名(自主事業)	実施回数・参加者	目的および内容
介護者のつどい 「ほっと茶屋」	12回実施 参加者総数90名	目的:①介護者の仲間づくり②ストレス解消 内容:茶話会、介護に関するミニ講座
すみれが丘ケアプラデー	10回実施 相談者総数13名	目的:CPから離れたエリアでの相談の受付 内容:相談会

(5) 地域活動交流事業

①相談実績 合計63件(内訳:子育て関係0件・障害関係0件・その他63件)

相談内容内訳

内容	件数	内容	件数
日常生活課題	1	その他の制度・サービス等	0
消費者保護	0	認知症	0
成年後見制度	0	介護・医療(認知症以外)	0
虐待	0	子育て・青少年関係	0
介護保険・介護予防	2	障害児・者関係	0
行政サービス	0	苦情	0
インフォーマルサービス	2	その他	58
入院・施設入所	0		

②援助内容内訳

内容	件数	内容	件数
安否確認・状況把握	2	他機関との調整	3
助言	2	傾聴	1
情報提供(サービス・施設紹介等)	3	その他	57

③子育て支援

事業名	実施回数・参加者	内容
あそびのおもちゃランド	10回実施 参加者総数253名	目的:未就園児と養育者の仲間づくりと情報提供 内容:ミニイベント、サロンの実施。
わくわくコアラ	10回実施 参加者総数123名	目的:親子のスキンシップ、仲間作り 内容:声楽家・幼稚園教諭等によるリトミック
ぞうさんくらぶ	11回実施 参加者総数214名	目的:未就園児と養育者の仲間づくりと情報提供 内容:サロンの実施。
おやこひろば	10回実施 参加者総数79名	目的:未就園児と養育者の仲間づくりと情報提供 内容:幼稚園教諭による運動・遊び・ベビーマッサージ

④障害児者支援

事業名	実施回数・参加者	内容
ステキアート	6回実施 参加者総数55名	目的:発達障害の子どもとの交流と養育者の交流。 内容:美術教師によるアート活動

おさんぽカフェin東山田	9回実施 参加者総数122名	目的:障害児・者と地域住民の交流 内容:イベントとカフェ
--------------	-------------------	---------------------------------

⑤高齢者支援

事業名	実施回数・参加者	内 容
談話室	20回実施 参加者総数287名	目的:①介護予防②孤立予防③顔の見える関係づくり ④課題の早期発見・早期介入 内容:茶話会
ふきのとう	22回実施 参加者総数310名	目的:①介護予防②孤立予防③顔の見える関係づくり ④課題の早期発見・早期介入 内容:昼食会

⑥広報活動

- ・「けあぷら通信」 1回約1,650部発行〈4回〉 情報提供を掲載。
- ・「けあぷら広報紙」 1回約1,650部発行〈12回〉 複数の事業案内を掲載
- ・「子育て事業のお知らせ」 1回約1,650部発行〈12回〉 子育て事業情報の掲載。
- ・「ケアプラザカレンダー」 1回約80部発行 〈12回〉 掲示用事業カレンダー
- ・ホームページ 広報紙、自主事業の案内等を掲載。(概ね1月に1回更新)

(6)生活支援体制整備事業

自主事業・協議体

事業名	実施回数・参加者	内 容
からだ相談会 ※包括と共催	5回実施 参加者総数107名	目的:①地域連携②総合相談受付③新たな活動の構築 内容:地域の事業所と共催での相談会
介護予防ボランティア	11回実施 ボランティア26名	目的:①地域連携②介護予防の普及 内容:地域の事業所と協力し地域活動に赴き介護予防講座を実施
エリア連絡会	4回実施 参加者総数90名	目的:①地域ケアシステムの構築 内容:学習会・意見交換会の実施
スマホ講座	2回実施 参加者総数46名	目的:①地域連携②老後の備え③新たな活動の構築 ④仲間づくり 内容:地域の事業所と共催での講座の実施
Dフレンドリー委員会 (協議体)	8回実施 参加者総数77名	目的:①地域連携②認知症普及啓発予防③新たな活動の構築 内容:見守りあいアプリの普及・認知症講座の開催

(7)運営協議会

- 第1回 令和6年7月31日 対面実施 令和6年度事業計画等  
第2回 令和7年3月24日 対面実施 令和6年度事業報告、令和7年度事業計画等